

日本フンボルト協会 第三回常務理事会議事録

日時：2014年3月7日（金）14：00～17：00

場所：ドイツ学術交流会（DAAD）東京事務所内

広渡理事長、櫻田副理事長、

常務理事：伊藤眞理事、高橋義人理事、鏝田理事

議題：

報告事項

以下について、理事長および事務局から報告があった。

1. 学術参与について

- ・日本担当のフンボルト財団学術参与は、現在の縣 公一郎参与（2008年1月着任）に代わって2014年1月から3年の任期で井田 良理事が務めることとなった。
- ・井田氏の就任について、理事長による紹介と井田氏のあいさつをHPにアップすることとした。

2. Humboldt Alumni-Preis 2011 について

- ・3年間の事業期間が終了したので、フンボルト財団の要請に基づき終了報告書を提出した。残額は、留学支援サイトの改善およびHPの維持管理の費用として支出することとし、HP委員会の管理の下におくこととした。（資料参照）

3. 会員の管理について

- ・会員名簿をエクセルで作成していたが、アクセスデータに変換した。
- ・現在の会員数は一般会員として会員1407名（うち連絡先不明73名）と新会員 Humboldtianer 421名（うち連絡先不明62名）であり、外国籍の Humboldtianer で把握している93名（うち12人が不明）について一般会員として参加するかどうかを近日中に問い合わせることとしている。
- ・42名から「退会」の申し出があり承認した。うち12名が2013年度の会費を支払っている。
- ・これまでに逝去された会員が総計で253名となり、リストをフンボルト財団に送り照合を依頼したところ、全員をチェックしてリストから削除した旨連絡があった。今後も1年に一度くらいデータをお互いに確認していきたい。

審議事項

1. 名誉会員制度の運用について（別紙参照1.）

- ・前回より懸案とされていた名誉会員の処遇について審議し、以下の了解に達した。
名誉会員制度の運用は、従前東西においてまったく異なっており、また、新協会発足時の暫定処理も不明確であった。そこで、名誉会員については新協会における新規マターとして、会員制度全体を見渡しながら（一般会員の規定の検討、特別会員制度の新設等を含んで）時間をかけて検討することとし、来年2015年の会員総会に提案することとする。

2. 予算案について

(1) 会費の払い込み状況

- ・11月時点で会費支払い数は470名であったが、12月16日に登録のお願いとともに1693人に会費支払いのお願いを出し、その結果、現時点で旧会員1334名のうち649人、新会員359人のうち88人、退会申し出の会員12人が支払い、総計749人の支払いがあった。払い込み用紙に記載されている住所などの記載により、データの整備を進めている。当面の目標は850名である。

(2) 今後の会費請求の方法について

- ・会費請求の頻度については今年度の実績をふまえて年 2 回とすることとした（原則として 5 月、10 月）。なお、会費の考え方としては当年度分を当年度に請求し、さかのぼって請求することはしないこととする。ただし、未払いが 5 年以上になった会員については、ニュース等の発送停止などなんらかの対応措置を検討することとする。
- ・協会財政確立のために支部および大学別連絡責任者の連絡網を通じて、会費支払いのお願いをすることを検討する。

(3) 来年度予算案について

- ・財政運営の計画性と透明性を高めるために予算案を作成し会員総会に提案することとする。

4. 支部について

(1) 状況

- ・昨年末に各支部に会員リストを送付し活動計画、支出計画の提出を要請した。また各支部に大学別連絡責任者の設置をお願いした。その結果、①関西支部はほとんどの大学に連絡責任者を設置し一覧リストも作成された。②関東支部は、3 月 24 日に関東支部総会を予定し、また、活動計画、支出計画を常務理事会に提出し、了承された。③中四国支部、九州支部は支部長の下で検討中と連絡があった。④中部支部は総会をすでに開催し体制がとられた。
- ・事務局で整理した各支部の構成人数は下記の通りである（内訳は新旧会員の区別）。
関東甲信越 719 名 (605+114)、関西 451 名 (341+110)、中部 138 名 (92+46)
九州 133 名 (96+37)、中四国 130 名 (94+36)、東北 75 名 (67+8)、北海道 48 名 (37+11)

(2) 支部の運営について

- ・支部活動の活発化は、新協会の最重要の課題であり、経験交流と独自の課題としての検討のために今後、総会時に「常務理事・支部長合同会議」を開催することとした。

(3) 大学別連絡責任者の確定について

- ・各支部において確定を進め、総会に名簿を提出し、HP に名簿を掲載することとする。

5. ホームページの運営について

(1) 状況

- ・12 月 16 日に会費請求とあわせて留学支援サイトへの登録のお願いを郵便で発送した。続いて本年 2 月 20 日にメールで登録の催促をし、登録の仕方を詳細に案内した。また、事務局で登録の代行をすることも連絡した。その結果、現在の登録者数は Humboldtianer が約 200 名、ドイツ人研究者が約 300 名という状況である。
- ・会員からの HP 掲載希望は、HP 委員会の審査を経て掲載している。

(2) 留学支援サイトについて

- ・登録者を増やす取組をつづけながら、近日中に公開することを HP 委員会として決定することとした（その後 4 月 1 日からの公開が決定された）。

(3) ホームページの運営について

- ・会員による利用度をいかに高めるかが重要であり、各支部からの活動報告や会員からの情報提供をさらに進めることを確認した。
- ・関西支部から関西支部のページがほしいという要請があり、サイトにページを作り、記事の掲載については HP 委員会が管理する形で運営することとした。また、中部支部のように独自の HP を立

ち上げ、協会のHPとリンクする方式が望ましいのでこの方向も合わせて追求することとした。

6. 2014年度の会員総会について

(1) 開催要綱

以下のように開催要綱を決定した。

①開催時期：2014年6月14日（土）午後2－8時

②開催場所：ドイツ文化会館

③内容：会員総会、講演と留学説明会、懇親会

④準備体制として、若手会員の参加確保に努め、留学希望者への宣伝を強化すること

⑤なお、講演会とコンサート、留学説明会および懇親会は、DAAD友の会、日本フライブルク会、日本ケルン・アルムニ・クラブと共同で行うこととした。

寄せている

・当日のプログラム案

時間割について	12:00－13:00 常務理事・支部長合同会議
	13:00－14:00 理事会
	14:00－15:00 会員総会
	15:00－16:00 講演会とコンサート
	16:00－17:30 留学説明会
	18:00～ 懇親会

7. その他

- ・上海での Humboldt-Kolleg における中国、韓国および日本の今後の交流についての協議を踏まえて上海 Humboldt-Kolleg 事務局の Zou 氏（華東理工大学）からその後の日本における検討状況について、鏝田常務理事に照会があった。
- ・日本としていくつかの取組みの可能性を検討していくこととし、今後も積極的に情報交換を進めることを確認した。
- ・取組みの1つとして会員総会に中国、韓国、台湾の Humboldtianer 代表を招待することを検討することとした。

次回常務理事会予定： 総会当日6月14日の12時から常務理事・支部長合同会議として開催